交通事故ゼロの日 毎月15日

10月15日に制定市民大会

新潟市内から交通事故を絶滅しよう―と、市では、毎月十五日を「交通事故ゼロの日」に制定し、市民総ぐるみの交通安全運動を展開します。運動は、早朝の街頭指導、全家庭の訪問などにより、市民一人一人に交通安全意識の高揚を図ろうというものです。

来月十五日に「交通事故ゼロの日」を制定する市民大会が開かれこの日から「ゼロの日」の運動がスタートします。

交通事故はなんといっても市民一人一人が交通安全について自覚し、交通のルールを守らなければ事故は防止出来ません。交通事故の原因は、ちょっと気を付ければ事故にならないケースがほとんどです。そのため家族ぐるみ、地域ぐるみの運動を進めてゆく「ゼロの日」には大きな期待が寄せられます。

「ゼロの日」には次の運動が展開されます。①自治、町内会の交通安全部と交通安全関係者と協力して全市一斉に登校する児童、生徒の安全を守るための早朝街頭指導。②交通安全部が全家庭を訪問し、交通安全特に子供と老人の事故防止を呼びかける。③各家庭や職場での交通安全をテーマとした話合いをもつよう、呼びかける。

なお、「ゼロの日」制定市民大会は十月十五日、午前十時から正午まで市公会堂で行なわれます。市民あげての運動をスタートさせるだいじな日です。皆さん多数の参加をお待ちしています。

内容は①交通安全功労者表彰 ②各層代表による決意表明 ③宣言 ④交通安全映画の上映

子どもに"愛の一声"を

悲惨な事故のないように

市では、十月二日に"愛の一声運動"と題して、古町十字路や新潟駅前、内野四ツ角など市内各地において、子どもを中心に歩行者自転車乗りに事故防止を呼びかけます。

この運動は、最近多く発生している子どもの事故を防ぐため、交通ルールを守らない子どもを見かけたら、すぐその場で注意し、指導しようーというものです。

十月二日のこの運動をきっかけに、市民の一人一人が、ルールを守らない子どもを見つけたら、いつでもその場で注意していただくようお願いします。

"愛の一声運動"は、つぎのことを重点的に呼びかけ、注意します。

〈歩行者〉

❶右側を正しく歩く
❷子どもを道路で遊ばせない
❸歩道のある道路では、必ず道路を利用する
❹横断歩道、歩道橋を利用する

〈自転車〉

❶二人乗りの禁止
❷右側通行や二列進行はさせない
❸ジグザク運転、傘さし運転はやめさせる。

十月三日にマラソン大会

締め切りは二十八日

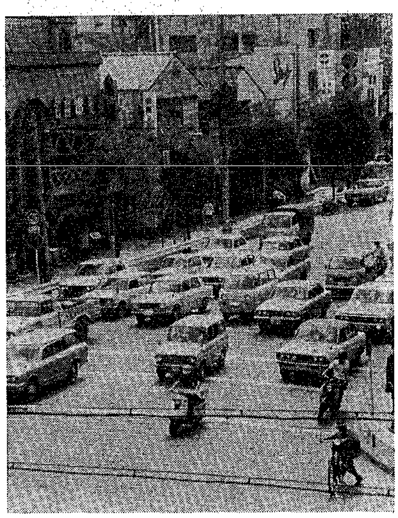
十月三日に行なわれる第四回新潟市マラソン大会の参加申し込みは、今月の二十八日までです。申し込まれていない方は、早めに申し込んでください。

☆とき　十月三日　午前十時
☆コース　海浜マラソンコース
☆種別　中学生、高校生、一般女子、一般男子(年齢別)に分かれて走ります。
☆集合　午前九時半までに市営プール前広場へ。
☆申し込み　住所、氏名、年齢学校名か勤務先、種別を書き市保健体育課(一番堀通)へ

交通安全バッヂ デザイン募集中

市では，いま，交通安全バッヂのデザインを募集しています。どしどしご応募ください。

■内容　交通安全を強く印象づけるもの。
■規定　①用紙はB5版を使用。
　　　　回色彩は3色以内。
　　　　ハ〝交通安全〟この文字を入れること。
■資格　新潟市民に限ります。1人2点以内です。
■期限　10月5日必着のこと。
■賞金　1等　2万円(1人)
　　　　2等　3千円(2人)
　　　　3等　記念品(5人)
　　　　佳作　記念品(10人)
■送り先　市交通課(新潟市西堀通6，☎28―1000番内線446番)へどうぞ。
■発表　10月12日(個別に連絡)するとともに，10月25日号〝市報にいがた〟に発表。



市民ぐるみで交通事故をゼロに

市政懇談会　お年寄りに 生きがいを

出席者(順不同)

<老人クラブのリーダー>

颯野　愈(篠長寿会)
熊倉　栄之助(小針山手長寿クラブ)
井上　文燦(山ノ下寿会)
高橋　末三郎(新潟百老会)
佐藤　十蔵(花年長寿クラブ)
野口　市弥(本所長寿クラブ)
横田　昌男(二葉町長寿会)
小泉　末一郎(天野長寿会)
勝見　六太郎(天神町新生会)
山崎　直一(西山福寿会)
石井　毅高(明寿会)
坂井　米蔵(親和会)
堀　十一(濁川老喜会)

<市側>

渡辺　市長
若杉　福祉事務所長
阿部　ことぶき荘所長

"老人福祉"をテーマに去る十三日、老人福祉センター"ことぶき荘"で市政懇談会が開かれました。出席者は市内の各老人クラブ代表十三人と市側からは渡辺市長、若杉福祉事務所長、阿部ことぶき荘所長が出席しました。

今回の市政懇談会は、お年よりの人たちに、生きがいのある老後を過ごしてもらうには、どんな施設や行政が必要かを老人クラブの代表から直接聞き、今後の市政に反映するため開かれたものです。

懇談会では、無料健康診査、休けい所、老人福祉センター、集会場などに活発な意見や要望が数多く出ました。

最初に集会場など施設について「クラブの集まりは、お互いの悩みや心配ごとを話し合うなど、老人にとって心の寄りどころであり生きがいにもなっている。しかし定期的に開くにも近くに集会場がない。早く造って欲しい」、「福祉センターや休けい所は、非常に好評だ。何回でも来たいのだが、遠すぎる。もっと造って欲しい」など施設建設に要望が集まりました。これに対し市長は「休けい所、福祉センター、集会場を設けて欲しいとの意見だが、各地域の実情を考慮し、徐々に建設するつもりだ。さしあたっての対策として、敬老号の運転効率を増してゆく」

次に老人健康診査について、「診査は無料でありがたいのだがせっかく病気を見つけてもらっても、その後の医療費が心配で、あまり受けていないのが実情だ」これに対し、市長は「老人医療の無料化は全国的な問題になっており国でも対象年齢を何歳にするか検討中のようだ。市も国に歩調を合わせて医療費の無料化を進めていくつもりだ」と答えました。また、「老人にとって働くことも生きがいの一つだが、市内には相談所はあるのか」という質問が出され市長は「東中通の県社会福祉協議会内に高齢者職業紹介所がある。相談件数もかなりあるようだが、そのうち八三㌫が市内の老人だ。希望どおりの職場につけるよう、連絡を密接にとりたい」最後に市長が「きょうの懇談会で、老人の生きがいや、何を望んでいるのかよくわかったので、今後の市政に活かしてゆきたい」と結びました。

一日・二日に電気無料相談

電気の安全使用を図るため、全国一斉の電気用品安全運動が展開され、市内でも、次の日程で行なわれます。

十月一日に下越婦人会館(白山浦)と、二日に弁天公園内(弁天町)で、午前十時から午後四時までの間、NHK、東北電力、新潟県電機商業組合などが、相談や修理に応じます。

内容は①電気器具の相談と修理②電気工事の相談③電波障害の相談。なお、相談は無料ですが修理材料の必要なものは実費が必要です。

磁石と地図を頼りに

赤塚でオリエンテーリング大会

新潟市と新潟市ユースホステル協会の共催で、十月十日に"初心者向けオリエンテーリング大会"を行ないます。

この競技は、大自然のなかを地図と磁石をたよりに、定められたチェックポイントを通って早く出発点にもどってくるという、新しいスポーツ競技です。多数参加ください。

■日時　十月十日　午前九時四十分～午後三時三十分。午前九時四十分までに、赤塚中学校へ集合(弥彦行きのバスに乗り、赤塚連絡所前で下車、そこから徒歩二分)。小雨決行。
■定員　百人
■参加料　無料
■持ち物　昼食、水筒、筆記用具雨具、運動靴など。競技に必要な資料や磁石、地図などは用意してあります。
■競技場所　佐潟を含む赤塚～巻町越前浜一帯。
■競技方法　青年組と少年組に分かれ、それぞれ一〇㌔、六㌔の間で競います。一組が三人から五人単位になります。
■申し込み方法　十月五日までに三人から五人全員の氏名、年齢住所、チーム名を記入し、代表者に必ず△印を付けて、申し込んでください。
■申し込み先　新潟県ユースホステル協会オリエンテーリング係(西堀通五番町、小林デパート内、☎28―〇一一一番)

この欄の広告の取り扱いは新潟日報事業社へ

貯めて、借りて、大きく楽しむ。
ローンがついているプラス預金　すぐそばにある 第四銀行

若いかたにも人気がある「プラス預金」の5つの特典
①月々の積立てで大きくたまる!
②いつでもご用立て!
③手軽にローンが利用できる!
④お利息がとても有利!
⑤自動振替でテマがはぶける!

安全有利な農林中金の債券
あなたの貯蓄を大きく殖やす
農林債券
1年貯蓄で最高 ワリノー 利回り 年6.213%
5年貯蓄で最高 リツノー 利回り 年7.3%
ワリノー友の会 花の行事ご案内
●紅葉の奥只見シルバーライン探勝――10月14日(木)日帰り
●花の絵児童画展――10月3日(日)～10日(日)
●秋の銘花展――10月16日(土)～17日(日)
●秋のバラ展――10月23日(土)～24日(日)
農林中央金庫新潟支所
〒951 新潟市寄居町344の1 電話22-4151(代)